

令和2年度 全道少年(U-12)8人制サッカー大会 兼 第17回 JA全農杯全国小学生選抜サッカー大会 千歳地区予選

開催要項(改訂版)

- 1 主 旨 少年サッカーの発展を育成を目指し、かつ交流を図るとともに8人制サッカーの底辺拡大に努める。
- 2 名 称 令和2年度 全道少年(U-12)8人制サッカー大会 兼 第17回 JA全農杯全国小学生選抜サッカー大会
令和元年度千歳地区予選
- 3 主 催 千歳地区サッカー協会、恵庭サッカー協会
- 4 主 管 千歳地区サッカー協会4種委員会
- 5 期 日 令和2年 10月5日(土) 10月6日(日)
- 6 会 場 恵庭市るるまっぷ自然公園ふれらんど多目的広場
- 7 参加資格 (1) 「参加チーム」は2019年度に(公財)日本サッカー協会第4種に加盟登録したチームであること。
ただし、2020年度にも継続登録予定であること。
(2) 「参加選手」は、上記「加盟チーム」に所属する選手で、(公財)日本サッカー協会第4種登録選手であること。ただしU-6選手の参加は認めないものとする。
(3) 第4種年代の女子選手については(「クラブ申請」を承認された)同一「クラブ」内の他のチームから選手を参加させることも可能とする。ただし、前項(2)は適用される。
(4) 引率指導者は「参加チーム」を掌握指導する責任ある指導者であり、本協会公認コーチ資格(D級コーチ以上)を有すること。
(5) 「参加選手」は健康であり、且つ親権者の同意を得ること。
(6) 「参加チーム」は必ず傷害保険(スポーツ安全協会傷害保険)等に参加していること。
- 9 競技規則 (1) 公益財団法人日本サッカー協会「8人制サッカー競技規則」による。
但し、3ピリオド制を採用し、詳細に関しては本大会用として競技方法に定める。
- 10 競技方法 (1) 予選は3ブロック編成とし、1ブロックの所属は3チームとする。
(2) ブロック予選リーグで各ブロック1・2位のチームが決勝リーグに進出する。
(3) リーグ戦での順位の設定は 勝ち点 得失点差 総得点 総失点 当該対戦勝者 同率の場合は3人PK(4人目以降サドンデス)とする。なお、PK戦の前に登録選手より8名を選出し主審に通知する。
(4) 決勝トーナメントへ進出できなかったチームは秋季新人大会に参加する。
(5) 競技のフィールド
・フィールドの長さ(タッチライン)は68m、幅(ゴールライン)50mとする。
・ゴールポストの間隔は5m、クロスバーのグラウンドからの高さは2.15mとする。
・その他ペナルティエリア等の長さに関しては「8人制サッカー競技規則」に準ずる。
(6) 試合球 少年用4号公認球を使用する。
(7) プレーの時間
・予選リーグは36分(12分-12分-3分-12分の3ピリオド制)
・決勝リーグは12分-12分-5分-12分の3ピリオド制
・フェニックス大会(秋季新人リーグ)は12分-12分-3分-12分の3ピリオド制
(8) インターバル(ピリオド間)
・第1ピリオドと第2ピリオド間は選手交代に要する時間のみとし、第2ピリオドと第3ピリオド間は、3分とする。
ただし、決勝リーグの第2・第3ピリオド間のインターバルは5分とする。
(9) エンドの決定
・第3ピリオドのサイドはコイントスで決定し約半分が経過したタイミングでサイドをチェンジする。タイミングは審判に委ねる。再開方法はキックオフとする。
(10) 試合の勝者を決定する方法
規定の時間内に勝敗が決しない場合は、予選リーグ・決勝リーグでは引き分けとする。決勝では6分(3分ハーフ)の延長戦を行い、なおも決しない場合は試合終了時に出場している選手によるPK方式(3人)で勝者を決定する。延長戦までのインターバルは3分とし、PK方式までのインターバルは1分とする。
(11) 選手の交代
・競技者の数は、常に8人(うち1人はGK)とする。
・第1ピリオド出場予定の8人、第2ピリオド出場予定の8人と、その他交代要員を予めメンバー表に記載して明確にする。
・第1、第2ピリオドは、原則、各ピリオドに予め登録された選手全員がそのピリオドを通じて出場する。(事故・けが等により出場続行が困難な場合を除く)
・交代要員含め同一選手の出場は最大で2ピリオドまでとし、3ピリオド全てに出場することはできない。
事故・ケガ等で出場困難な選手が発生し、出場可能な選手が11人以下になったときに限り、1試合で3つのピリオドに出場することを認める。(延長戦はピリオドの数に含まない)

①第1ピリオド

- ・予め決められた、第1ピリオド出場予定選手が出場する。
- ・試合中の事故・けがで交代する場合は、交代要員が出場する。
交代要員: 提出したメンバー表に出場印がついていない選手
- ・交代選手全員が事故・けが等で出場困難となった場合に限り、第2ピリオド出場予定の選手が出場できる。

②第2ピリオド

- ・予め決められた、第2ピリオド出場予定選手が出場する。
- ・試合中の事故・けがで交代する場合は、交代要員が出場する。第1ピリオドで交代出場していても出場できる。
- ・交代選手全員が事故・けが等で出場困難となった場合に限り、第1ピリオド出場予定の選手が出場できる。

③第3ピリオド

- ・第1・第2の両ピリオドに出場した選手を除き、交代要員含め誰でも出場できる。
- ・何回・何人でも交代でき、一度退いた選手も再び出場できる。(=自由な交代)

④延長戦

- ・交代要員含め誰でも出場できる。
- ・何回、何人でも交代でき、一度退いた選手も再び出場できる。(=自由な交代)

(12) 交代の手續

- ・交代して退く選手は、交代ゾーンからフィールドの外にでる。
- ・交代して出場する選手は、退く選手が外に出た後、交代ゾーンからフィールドに入る。
- ・交代は、ボールがインプレー中アウトオブプレー中に関わらず行うことができる。
ただし、交代で退く選手が負傷している場合は主審の承認を得た上でどこからフィールドを離れてもよい。
- ・交代は、主審、補助審判の承認を得る必要はない。
ゴールキーパーは、事前に主審に通知したとて、試合の停止中に入れ替わることができない。

- (13) 競技者の用具
- ・競技者の用具については、公益財団法人日本サッカー協会「サッカー競技規則」「8人制サッカー競技規則」およびユニフォーム規定に従うものとする。ただし、ユニフォーム規定第4条の規定にかかわらず、登録していないユニフォームを着用することができる。
 - ・試合開始時のゴールキーパーが着用するユニフォームは大会参加申し込みの際に登録したものとする。ただし、同一ピリオドの途中で交代する状況が発生した場合は、ピブス着用を可とする。
 - ・選手番号については「参加選手」ごとに大会に登録されたものを使用する。
 - ・ユニフォームの広告表示については、公益財団法人日本サッカー協会ユニフォーム規定に基づき承認された場合のみ許可する。
- (14) テクニカルエリア
- ・設置しない。
 - ・ベンチに入ることができる人数は最大選手12名・指導者4名とする。
 - ・2名以上の指導者がベンチに入ることを義務付ける。
 - ・その都度ただ1人の引率指導者のみが戦略的指示を伝えることができる。
- (15) 審判員
- ・1人の主審と補助審判が指名される。アディショナルタイムの表示は実施しない。
 - ・ただし、決勝戦のみ、主審1名、副審2名、予備審1名の4人審判制とする。
- (16) ファウルと不正行為
- ・警告・退場： 通常の競技規則に準ずる。
 - ・退場： 当該チームは交代要員の中から競技者を補充し、常に8人でプレーする。
 - ・退席処分： ベンチ(監督・コーチ・役員他)が判定に対して異議を唱えたり、選手に対して罵声などのネガティブなコーチングを行い、主審から一度注意を受けた後に、再度同様な行為があった場合は、主審の判断により退席処分とし、それ以降はベンチからのコーチングは不可とする。
 - ・大会期間中、警告を2回受けた選手は、次の1試合に出場できない。
 - ・本大会において退場を命じられた選手は、次の1試合に出場できず、それ以降の処置については 本大会の規律フェアプレー委員会で決定する。
- (17) 登録選手証
- 本大会出場する選手は、(公財)日本サッカー協会発行の選手証を持参すること。ただし写真貼付により顔の認識ができるものであること。選手証とは、(公財)日本サッカー協会WEB登録システム「KICKOFF」から出力した選手証・登録一覧証を印刷したものを示す。ただしスマートフォンやPC等の場面に表示したものは、本大会では不可とする。
- 11 懲罰
- (1) 本大会の地区予選と全道大会は懲罰規定上の同一の競技会とみなし、予選終了時で退場・退席による未消化の出場停止処分は全道大会において順次消化する。
- (2) 本大会において、退場を命じられた競技者は、自動的に次の1試合に出場できずそれ以降の処置については、本大会の規律・フェアプレー委員会で決定する。競技者が退場を命じられた場合は、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充することができる。主審は競技者が補充されようとしている間は、試合を停止する。
- (3) 本大会期間中、警告を2回受けた者は、本大会の次の1試合に出場できない。
- (4) 本大会の規律・フェアプレー委員会の委員長は千歳地区サッカー協会第4種委員長が務める。委員については委員長が決定する。
- 12 参加料 12,000円、ただし1団体/2チーム参加の場合は6,000円を追加する。
- 13 参加申込 参加チームは以下の手続きを期日までに完了すること。
- (1) 参加申込書の提出
所定の用紙をEメールで申込先宛に提出する。
参加申込書には選手16名以上20名まで、公認資格指導者2名以上4名以内の氏名を記入すること。
- (2) 大会参加料は監督会議時徴収する。
- (3) 選手変更・追加登録は、所定の様式を使用しEメールにて申込宛に届け出のこと。
- (4) 参加申込 令和元年9月18日(水)
選手変更・追加登録締切 令和元年10月1日(火)必着
- 【申込先】
千歳地区サッカー協会第4種委員長 門田秀昭 宛
e-mail cfa_4syu@soccer.nifty.jp
- 13 帯同審判員
- (1) 出場チームは公益財団法人日本サッカー協会審判員を1名以上帯同させること。帯同する審判員の氏名、資格等を参加申込書に記載すること。(主審は3級以上の資格保有者が望ましい。)
- (2) 帯同審判員は、大会期間中審判業務にあたらせるものとする。
- (3) 不帯同は認めない。
- 14 ユニフォーム
- (1) ユニフォーム(シャツ・ショーツ・ストッキング)は正の他に、副として正と色の異なるユニフォームを参加申込の際に記載し、各試合に必ず携行すること(FP/GK用共)ただし、FPが同一ピリオドの途中からGKとしてプレーする時はピブスで良い。(固有の番号でなくてもよい)
- (2) 審判(黒色)と同一または類似したシャツを試合において着用することはできない。公益財団法人日本サッカー協会「ユニフォーム規程」を遵守すること。
- (3) ユニフォームの色・背番号の参加申込以降の変更は認めない。
- (4) シャツの前面・背面に選手登録用紙に記載された選手固有の番号を付けること。

- 15 監督会議 9月20日(金)午後7時00分から千歳地区サッカー協会事務所で行う。(全チームの参加を義務付ける。)なお、監督会議には代行者(帯同審判・コーチ等)の参加も可とする。
- 16 開会式 行わない。
- 17 閉会式 10月6日(日)決勝戦終了後、大会本部前において行う。優勝・準優勝および3位チームの選手・監督は全員参加することを原則とする。
- 18 その他
- (1) 大会規定に違反し、その他不都合な行為の発生した場合は、そのチームの本大会への出場を停止する場合があります。
 - (2) 荒天・震災・雷等、不測の事態が発生した場合は千歳地区サッカー協会4種委員会3役および審判部長等において協議の上、対処する。中断・中止・延期することがあるので留意のこと。
 - (3) 主催・主管等は、大会期間中の事故に関する一切の責任を負わないものとする。
 - (4) 優勝チームは令和2年4月11～12日に函館地区(予定)で開催される第17回 J A全農杯全国小学生選抜サッカー I N北海道への参加を義務付ける。

以上